

道具やまき割り 林業の世界知る

鶴岡で体験研修

県庄内総合支庁が主催する林業体験研修が9月30日、鶴岡市の山形大農学部体育館で行われ、参加者がチェーンソーなど林業の道具に触れ、まき割りなどを体験した。



地元の指導林業士ら5人が講師を務めた。会場では枝切りばさみやなた、ドリルなど約80種類の道具を紹介。空撮用のドローンのほ

か、森の中の木の位置や高さ、直径を把握する森林3次元計測システムなど最新機器も並んだ。訪れた人は「初めて見る道具が多く興味深い」と話しながら、使用方法などを熱心に質問していた。

林業への新規就業や森林整備活動への参加を促そうと毎年開催し、3回目。

(近岡国史)



自動車の解体を体験する広野小の児童。酒田市・山形オートリサイクルセンター

車解体、リサイクルって大切

小・広・酒田
見・童・見

酒田市広野小(阿部美穂校長)の5年生10人が9月28日、学区内にある自動車中古リサイクル販売の山形オートリサイクルセンター(伊藤雄一郎社長)で、自動車の解体を体験しながらリサイクルの大切さについて学んだ。

社会科の一環。車両を搬入して再利用可能なパーツを取り外し、販売につなげるまでの流れについて同社従業員から説明を受けた。

続いて、実際に工具を使ってボンネットやバンパーなどを外す作業を体験。子どもたちは解体できそうなパーツを探し、車はあつという間に「丸裸」になっていた。佐藤龍樹君(11)は「ねじを外す作業が楽しかった。車にこんなにたくさんねじが使われているなんて知らなかった」と話していた。

(井上萌々子)



マニュアルに基づき、調理後、2時間以内の喫食が可能な位置とする。基本計画にはトラックへの積載や配送、学校で

か

寅



酒田(河村) 乗湯 温 岡市 記念 所前